

法蔵館書店ニュース 1月

目次

話題の本	P1	特集1:法蔵館書店 2024年下半期売行ベスト20	P12
法蔵館新刊案内	P2~3	特集2:法蔵館書店 2024年年間売行ベスト20	P13
法蔵館重版案内	P3~4	特集3:仏教と生きものの意外な関係	P14
法蔵館刊行予定案内	P5	お知らせ	P15
法蔵館書店のおすすめ本	P6~11	法蔵館書店ベスト10・メール配信サービスご案内	P16

★お知らせ★ 1、2月の書店休業日

1月のお休み:1~5日・12日・19日・26日
2月のお休み:2日・9日・16日・23日

話題の本

●京都新聞(2024/12/7)

『絶望のトリセツ―人生の危機をのりきる方法』

根本一徹・川本佳苗著・四六判・168頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2462-2

●ともしび(2024/12/1)

『悩んだら『歎異抄』―親子・家族関係の相談からカウンセラーが見つけた光』

富田富士也著・四六判・153頁・2,090円・ISBN:978-4-8318-5655-5

●週刊読書人(2024/11/29)

龍谷大学仏教文化研究叢書53

『解脱房貞慶の世界―『観世音菩薩感応抄』を読み解く』

阿部泰郎・楠 淳證編・四六判・386頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-6289-1

●仏教タイムス(2024/11/28)

『魚山余響略註―江戸時代後期、西本願寺の声明事情を読む』

藤波蓮凰著・A5判・456頁・13,200円・ISBN:978-4-8318-6288-4

●中部経済新聞(2024/11/19)

【シリーズ宗教と差別 全3巻】

磯前順一・吉村智博・浅居明彦監修・A5判・各3,080円

①『差別の構造と国民国家―宗教と公共性』

上村 静・菊田真司・川村寛文・関口 寛・寺戸淳子・山本昭宏編・324頁・ISBN:978-4-8318-5721-9

②『差別と宗教の日本史―救済の〈可能性〉を問う』

佐々田 悠・船田淳一・関口 寛・小田龍哉編・290頁・ISBN:978-4-8318-5722-4

③『差別の地域史―渡辺村からみた日本社会』

小倉慈司・西宮秀紀・吉田一彦編・280頁・ISBN:978-4-8318-5723-1

●漢学研究通訊(2023/11)

『中国注疏講義―経書の巻』

2刷

古勝隆一著・四六判・264頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-7758-1



法蔵館文庫

◆浄土教の展開

【仏教】

石田瑞鷹著・梯 信曉解説・文庫判・400頁・1,650円
ISBN:978-4-8318-2685-5

日本における浄土教の展開を、教理的観点から分析するとともに、社会一般の情勢とも関連づけて評価した恰好の概説書。

■目次

はしがき

第一章 序説

第二章 浄土教の移植と定着

第三章 源信をめぐる浄土教

第四章 末法と浄土教 ほか

ためし読み



◆法華とは何か——『法華遊意』を読む

【哲学／思想】

菅野博史著・文庫判・568頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-2686-2

吉蔵『法華遊意』の全文講読。適宜に段落を設けて、的確な現代語訳を掲げ、訓読文と注を付すとともに、わかりやすい本文解説を施す。

■目次

論一『法華経』と中国仏教

総序—開題序

序章 『法華遊意』全体の十章の構成

第一章 『法華経』の存在意義—来意門

第二章 『法華経』の根本趣旨—宗旨門 ほか

ためし読み



◆近世日本の国家権力と宗教

【歴史】

高埜利彦著・文庫判・470頁・1,760円・ISBN:978-4-8318-2687-9

近世の歴史像を描くうえで、今や欠かすことのできない、天皇・朝廷、神道・修験道・陰陽道などの研究に先鞭を付けた画期的論考。

■目次

序

第一章 近世国家における家職と権威

第二章 近世奉幣使考

第三章 江戸幕府と寺社

第四章 近世国家と本末体制 ほか

ためし読み



◆密教図像 第43号

【美術／密教】

密教図像学会編・B5判・108頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-0443-3

密教美術をテーマとした論文集。43号執筆者は、富島義幸・松岡久美子・田中公明・小山一太・大観慈聖・菊谷竜太・津田徹英。

■目次

口絵

富島義幸「蓮華三昧院蔵阿弥陀三尊像再考

—「観無量寿經」の造形としての解釈と位置づけ—

松岡久美子「十六善神図考

—法涌と常啼の図像を手掛かりに—

田中公明「指先を下に向ける施無畏印について

—ウダヤギリ大塔四仏との関係を中心として—

小山一太「釈迦と妃の因縁譚としてみる燃燈仏授記図」 ほか



法蔵館重版案内

◆近代日本の仏教と福祉

2刷 【仏教福祉／宗教史】

——公共性と社会倫理の視点から

井川裕覚著・A5判・380頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-5578-7

独自の倫理観による福祉事業を通して、仏教は公共空間の形成にいかに関与したのか。「国家主義的」とされてきた仏教社会福祉史を「公共宗教」という視点から捉え直す。

■目次

序章 近代日本の福祉をめぐる公共空間と仏教

【第I部 子どもをめぐる社会福祉活動と宗教】

【第II部 セツルメントの発展と浄土宗社会派による
仏教社会福祉活動】 ほか



◆法話のきほん

4刷 【真宗／仏教】

伊東恵深著・四六判・138頁・1,430円

ISBN:978-4-8318-8776-4

法話とは何か、どう話を考え作るのか、話すときや原稿を書くときに気をつけることは何か。法話の理念・準備・実践のきほんを、具体例を通してわかりやすく、ゼロから学べる一冊。

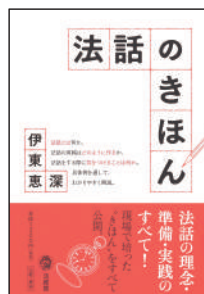
■目次

理念篇 「法話」とは何か

準備篇 法話の作り方

実践篇 気をつけること

おわりに



◆法語絵はがき おかげさま

5刷 【仏教】

吉田ゆずる：絵・ことば・15.2cm×11cm・12枚セット（ケース付）・385円
ISBN:978-4-8318-9908-8

行列ができるほど人気となった佛光寺の絵入り「法語印」の生みの親による、12枚入り絵はがきセット。ケース付き。

■目次

豊かな人生
親心となって
いのちの重さ
福は内 鬼も内
めぐみの雨
風にも氷にも
生きてゆける
いつでも帰って来いよ
和やかな笑顔
極楽とは ほか

ケース付！



表



裏

※内容見本



◆般若心経秘鍵への招待

2刷 【仏教／真言宗】

高野山真言宗布教研究所編・四六判・208頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-6069-9

弘法大師空海が解き明かす般若心経の秘密とは。高野山真言宗で読み慣わしてきた書下し文に、現代語訳、聖語集を付す。解説＝武内孝善

■目次

第一部 『般若心経秘鍵』

読み下し文『般若心経秘鍵』……中川善教

現代語訳『般若心経秘鍵』……武内孝善

『般若心経秘鍵』聖語集……武内孝善

『般若心経秘鍵』解説……武内孝善

『般若心経秘鍵』聖語エッセイ……渋谷良範

第二部 『般若心経』 ほか



◆正信偈——聖典読解シリーズ 5

2刷 【真宗／仏教】

内藤知康著・A5判・416頁・4,180円・ISBN:978-4-8318-7905-9

確かな教義学と知識に基づき、原文・訓読文・現代語訳・語釈・解説で一字一句を丁寧に読み解く。「往生とは」「念仏を称えろとはどのような意味なのか」についても解説する。

■目次

はじめに

一、「正信偈」の位置／二、『教行信証』の諸本 ほか

依経段

一、弥陀章／二、釈迦章 ほか

依釈段

一、総讃七祖／二、龍樹章 ほか



〈2025年2月 刊行予定〉

◆ひとりふたり・——春彼岸を迎える

【仏教／真宗】

四衢 亮編・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1174-5

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白い、参考になる、気軽に読める、と好評です！

◆教行信証の哲学

法蔵館文庫

【宗教／哲学】

武内義範著、石田慶和・岩田文昭解説・文庫判・240頁・1,210円・ISBN:978-4-8318-2688-6

親鸞の主著『教行信証』を、ヘーゲルやハイデッガーなど西洋哲学の知識を駆使して初めて哲学的に読み解いた記念碑的論考。親鸞思想を哲学として世に知らしめた名著。

◆実学思想の系譜

法蔵館文庫

【思想／日本史】

源 了圓著、大川 真解説・文庫判・368頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2689-3

幕末志士らの行動の源泉ともなった実学思想の江戸中期から明治中期に及ぶ展開を辿り、維新遂行や迅速な近代化の遠因を鮮やかに解明した思想史学の泰斗による名著。

◆マヌ法典——ヒンドゥー教世界の原型

法蔵館文庫

【宗教／哲学】

渡瀬信之著・文庫判・251頁・1,210円・ISBN:978-4-8318-2690-9

信仰と生活実践が不可分であるヒンドゥー教。今日も社会体制や人々の価値観に影響を与えるヒンドゥー教世界の原型たる『マヌ法典』を、正確にわかりやすく紹介する。

◆大久保良峻先生古稀記念論集 天台学と諸思想

【仏教／思想】

大久保良峻先生古稀記念論集刊行会編・A5判・830頁・14,300円・ISBN:978-4-8318-6400-0

天台教学や諸宗教学、周辺領域に関する最新研究について、国内外の第一線の研究者から新進気鋭の研究者まで28名の論考を収録。

◆荷澤神會研究

【中国仏教】

——神會の生涯・著作・思想とその史的意義

伊吹 敦著・A5判・624頁・13,200円・ISBN:978-4-8318-7785-7

中国仏教を国家仏教とアウト・ロー仏教とに二分して捉える巨視的視座に基づいて初期禪宗史を問い直し、荷澤神會の思想的営為の全貌と北宗批判の意味を初めて明らかにする。

◆ラジオ法話 佛説阿彌陀經

土岐慶正著・四六判・137頁・2,750円〈永田文昌堂〉

極楽の光景や阿弥陀仏の加威力を、広く深く分かりやすく読み解いた好評の“ラジオ法話”を完全収録。「阿弥陀經」を理解する決定版として、初心者の方にもおすすめしたい1冊。



◆煩惱百八面相

梶 哲也著、今村風子絵・文庫判・119頁・770円〈東本願寺出版〉

言葉としてはよく知られているが、具体的な中身はあまり確認されない仏教語「煩惱」。仏教学の研究者である著者が、仏教の「煩惱とは何か」を経典・注釈書にもとづき解説。苦悩の原因をより鮮明に知るためのガイド。



◆一日一分 ブッダの教え 365

アルボムツレ・スマナサーラ 著・B6判・276頁・2,200円〈サンガ新社〉

アルボムツレ・スマナサーラ長老の著書や法話から厳選した365話を「一話一分」で読める文章量でまとめました。日々の生活の中で気軽に読めるハンディな一冊です。



◆空海のことば365日

——一日一語で人生の不安が消え去る

保坂 隆著・新書判・383頁・1,980円〈誠文堂新光社〉

空海の、慈愛に満ちたことば、遊び心あふれることば、日々の不安が消え去るような優しいことばに焦点を当て、一日一語、365日に分けて紹介します。老いや死、将来や人間関係への不安などに、空海が応えます。お遍路のお供に、枕元に、通勤のかばんに。空海のことばと一緒に人生を歩みましょう。



◆死刑制度を問う

——仏教・浄土真宗の視点から

大谷光真著・四六判・192頁・2,750円〈春秋社〉

死刑制度の廃止が国際的な風潮となる中、いまだ日本は死刑存置の姿勢を貫いている。宗教界からも死刑制度の存置か廃止かを巡って声が上がってきた。本書は浄土真宗本願寺派前門主が、日本の刑事司法の問題点を整理し、浄土真宗仏教の視点から死刑のあり方を問う。



伝道ブックス90

◆生も死も引き受けて

——南無阿弥陀仏のいのちに生きる

延塚知道著・新書判・75頁・330円〈東本願寺出版〉

南無阿弥陀仏(本願)の教えに生き、死を受け入れていくとはどのようなことなのか——。

著者の父や師、郷里の念仏者たちとの出会い、そして妻の看病と別れの中で交わされた言葉をとおして尋ねる。



◆安心決定鈔(現代語版)

浄土真宗本願寺派著・B6判・108頁・1,540円〈本願寺出版社〉

蓮如上人に「読み飽きることがないお聖教である」と言わしめた『安心決定鈔』が、身近な現代語になりました。丁寧な訳された現代語に加えて、正しく理解できるように脚註と訳註を付し、巻末に『安心決定鈔』『御文章』等対照表、『安心決定鈔』関連略年表を収録した、配慮の行き届いた現代語版です。総ルビ、脚註、訳註付。



◆真宗からの華嚴・天台読本2 教義編

北塔光昇著・B5判・101頁・2,200円〈永田文昌堂〉

真宗僧侶が華嚴と天台の二大宗旨を深く学ぶことは、これからの伝道布教の上でも非常に重要である。この書では、前書經典編を踏まえ、各々の歴代祖師や教義をいくつかの部門に分けてわかりやすく解説する。



新潮新書 1056

◆アマテラスの正体

関 裕二著・新書判・187頁・946円〈新潮社〉

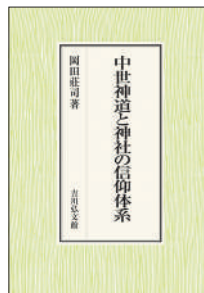
天皇家の祖神、天照大神(アマテラス)は伊勢神宮に祀られている。だが近世以前、歴代天皇がほとんど参拝していない。アマテラスは宮中に祀られていたが、崇神天皇の時代、もう一柱の神・日本大国魂神とともに、そこから出された。これまで注目されなかったこの神に光を当てることで、アマテラスの本当の姿が浮かび上がる。古代史研究の鬼才が、最大の謎に迫る。



◆中世神道と神社の信仰体系

岡田莊司著・A5判・408頁・11,000円〈吉川弘文館〉

12世紀後半の混沌とした世相のなか、両部神道から伊勢神道への転換期にあたる中世の神道と神社の信仰の実態を考察。文献考証により、神道思想の形成と展開、諸国一宮と鎌倉幕府の神社祭祀体制の確立から、近世に至る吉田神道への道程を追う。中世びとの心意に籠る「神=人=心」の信心を描き出し、現代神道に至る基本体系を浮き彫りにする。

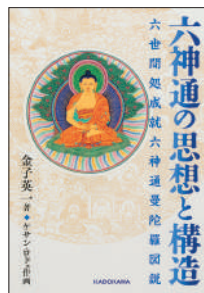


◆六神通の思想と構造

——六世間処成就六神通曼荼羅図説

金子英一著、ケサン・ロドエ作画・四六判・198頁・1,320円〈KADOKAWA〉

日本チベット佛教の権威が、世界的に知られるチベットの佛画師ケサン・ロドエ師を長野に招き、数年間にわたって議論しながら、六神通の思想と構造を描く日本・チベット合作の「六神通曼荼羅」図を作成。原始佛教以来の六神通の修行と思想の流れを追い、解り易く、その本質を示す試みに挑戦した意欲作。



◆日本の仏像はじまりの地 奈良の仏像115

田中ひろみ編・四六判・167頁・1,650円〈西日本出版社〉

人気仏像イラストレーター田中ひろみさんが、日本一の仏像の都・奈良の仏像をあますことなく紹介します。6世紀中ごろ百済の聖明王から欽明天皇に金銅の釈迦如来像が送られたとされています。つまり奈良は日本の仏像発祥の地。そのためか、日本の国宝仏像140件のうち76件の仏像が奈良にいらっやいます。本書ではエリア別に115件の仏像を紹介しています。



◆デーヴァ——ブッダの仇敵

三田 誠広著・四六判・642頁・4,950円〈作品社〉

仏敵デーヴァダッタ、バラモン教の六師外道との対話に尽くされるブッダの根本思想。宇宙と自我の同一、アーラヤ識などブッダの思索の奥義を窮める積年の労作。



◆光を聞く(続)

——どう生き どう死ぬか

松塚豊茂著・A5判・253頁・2,750円〈永田文昌堂〉

仏教概念と現実を突き合わせて、宗教一般・哲学的諸問題から信心・家庭・煩惱に至るまで全二十二項目に分類し、後世に残したい言葉を各々独立した短文で収録する。



◆高楠順次郎と近代日本

武蔵野大学高楠順次郎研究会編・A5判・319頁・8,800円〈吉川弘文館〉

女子教育の拡充や『大正新脩大藏経』の編纂など数多くの先駆的な教育・文化事業を推進し、近代日本の社会・学術の発展に寄与した高楠順次郎。仏典翻訳をはじめとした言語学・文献学の業績、多彩な事業の背景にあった仏教精神や社会思想の特徴、事業を支えた豊かな国際交流や人的ネットワークなど、多角的な視点から、知の礎を築いた人物像に迫る。



◆西田哲学の仏教と科学

——「場所的論理の立場から、科学を考へ直す」

坂本慎一著・四六判・327頁・3,520円〈春秋社〉

京都学派が触れてこなかった西田幾多郎と近代真言教学と和算、科学の影響を初めて解明。場所の論理は曼荼羅の影響を受けて生まれたことや、問題を立てて解いていくスタイルが和算から導かれることなど、今後の西田哲学研究を大きくかえる画期的論考。



◆ロックと悪魔

黒木朋興著・四六判・274頁・2,750円〈春秋社〉

ブラック・サバス、スレイヤー、ヴェノム、メタリカ、聖飢魔II……なぜヘヴィ・メタルではいつも「悪魔」が姿を現すのか——ヘヴィ・メタルが誕生し発展した主な地域がプロテスタント圏であることに着目し、カトリックとプロテスタントの違いという観点からキリスト教の文化的特徴について解説する。ポピュラー音楽の範疇を飛び越え、宗教史、思想、さらには政治・社会にいたる広範な視点から「ロック」を語る、前代未聞の一冊。

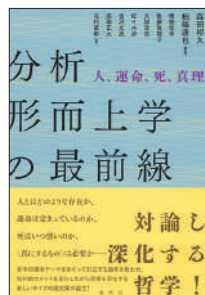


◆分析形而上学の最前線

——人、運命、死、真理

森田邦久・柏端達也編著、横路佳幸・後藤真理子・大畑浩志・佐々木 渉
吉沢文武・高取正大・北村直彰著・四六判・418頁・4,180円〈春秋社〉

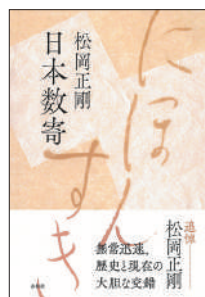
人はどのような存在か、運命は決定しているのか、死はいつ悪なのか、真理を決めるものは何か。誰もが関心を持つ四つのテーマについて、相異なる立場の研究者が立論し、お互いの論文にコメント、さらに再反論するという新しい形式のエキサイティングな論文集。



◆日本数寄

松岡正剛著・四六判・375頁・3,520円〈春秋社〉

いま、日本は漠然としすぎている。何かが発揮されないまま、すっかり沈殿したままになっている。歴史と現在が大胆に交錯しないからである——日本文化史にひそむ話題を取り上げ、その行間の一端に、今日につながる隙間を透く。



◆マインドフルネス 気づきの子育て

ジョン・カバット-ジン・マイラ・カバット-ジン著
穂積由利子訳・四六判・432頁・3,300円〈春秋社〉

生きぬくために欠かせないことのすべて。子どもと関わる大人にとって、すべての人間にとって、大切なことは「今、この瞬間」にある豊かな絆と生きる力を育み、未来へとつなぐインナーワークのすすめ。「マインドフルネスの父」が実際におこなった子育てとは。ティク・ナット・ハン、ダニエル・シーゲル他推薦！

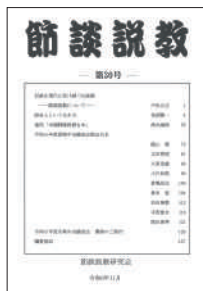


◆節談説教 第30号

節談説教研究会編・A5判・127頁・880円〈節談説教研究会〉

【目次】

伝統を現代に受け継ぐお説教 一節談説教について—
妙好人という生き方
復刻「田淵静縁説教台本」
令和6年度夏季中央錬成会提出台本
令和6年度冬季中央錬成会 開催のご案内
編集後記



◆季刊せいてん No.149

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B5判・66頁・700円〈本願寺出版社〉

【目次】

- 特集 「仏典翻訳のこれまでとこれから」
- はじめの一步1
エピソードで読み解く信心の世界(終)……三浦真証
- はじめの一步2
幸せてなんだろう—悪人正機の倫理学—32……藤丸智雄
- せいてんアレコレシリーズ 2 編集室
- 聖典セミナー『安心決定鈔』5……満井秀城
- せいてん流「字音」探訪 11……林 龍樹
- 読者のページ せいてん質問箱 4……貴名 譲 ほか



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 1月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎巻頭インタビュー 中川 敬(ミュージシャン)
歌っている時、俺の脳内に、いろんな顔が浮かび上がるんよね。
- ◎特別企画 「極楽」はどんなところ?
- ◎連載
●哲学者と僧侶
「私」をめぐる往復書簡／谷川嘉浩×中山善雄
- 生きづらいこの世界でも／竹田ダニエル
- 真宗と大拙と私／池田向一 ほか

◆大乘 1月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

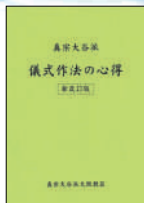
門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・DAIJO法話……眞壁法城
- ・ご機言! お寺の掲示板……江田智昭
- ・結婚してお坊さんになりました……前田純代
- ・なるほど仏教ライフ……西原祐治
- ・御文章をいただく……満井秀城
- ・みのりのエッセー……玉木興慈 ほか

特集1

法藏館書店 2024年・下半期売行ベスト20



儀式作法の心得 新改訂版

真宗大谷派大阪教区出版会議編・A5判・36頁・440円(真宗大谷派大阪教区)

上半期に引き続きランクイン！ 実際の法要儀式に必要な作法を取り上げ、図説を用いてわかりやすく解説されており、『住職必携』(法藏館)とあわせてご購入の方が多数。



人間はなぜ争うことをやめられないのか

一楽 真講述・A5判・89頁・250円(真宗佛光寺派)

昨年よりランクインを続け、変わらぬ人気。ますます混迷が深まる今日にあって、人間のふるまいについて語られています。



『教行信証』からひもとく浄土真宗の教え

藤澤信照著・A5判・216頁・1,980円・ISBN: 978-4-8318-8804-4(法藏館)

6月の発売以来、この本を目当てにご来店いただく方が多く、増刷を重ねています。待望の書籍化で、真宗教学のダイジェスト版です。

3刷

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
4	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
5	宗祖親鸞聖人御絵伝	真宗佛光寺派御伝絵・御伝文研究会編	真宗佛光寺派御伝絵・御伝文研究会	330円
6	一億三千万人のための『歎異抄』[朝日新書935]	高橋源一郎	朝日新聞出版	891円
7	法城を護る人々 上 【法藏館文庫】	松岡 譲著 野尻はるひ解説	法藏館	2,200円
8	法城を護る人々 下 【法藏館文庫】	松岡 譲著 半藤未利子解説	法藏館	2,200円
9	法城を護る人々 中 【法藏館文庫】	松岡 譲著 真継伸彦・大澤絢子解説	法藏館	2,200円
10	生きることを教える仏教	田畑正久	本願寺出版社	1,760円
11	【基礎から学ぶ浄土真宗③】信心と利益	内藤知康	法藏館	2,200円
12	【基礎から学ぶ浄土真宗②】念仏往生の教え	内藤知康	法藏館	2,200円
13	南無阿弥陀仏のころ(下)—正信偈にきく	廣瀬 惺	真宗大谷派難波別院	550円
14	いつも心に阿弥陀さんを—お内仏から問われる日ごろのころ	結柴依子	真宗大谷派難波別院	110円
15	親鸞思想と解放運動	廣瀬 晃	真宗大谷派難波別院	550円
16	親鸞の出遇った世界 浄土真宗IV 【教行信証化身土巻講義】	平野 修述「平野修師講義集」編集実行委員会編	真宗大谷派大阪教務所	2,530円
17	親鸞聖人の「御消息」を味わう—現代語訳・解説・原文	瓜生津隆文	自照社	2,310円
18	はじめてふれる坂東本・教行信証	三木彰円	東本願寺出版	1,650円
19	南無阿弥陀仏のころ(上)—正信偈にきく	廣瀬 惺	真宗大谷派難波別院	550円
20	親鸞と救済	本多弘之	春秋社	3,300円

特集2

法藏館書店 2024年・年間売行ベスト20



人間はなぜ争うことをやめられないのか

一楽 真講述・A5判・89頁・250円〈真宗佛光寺派〉

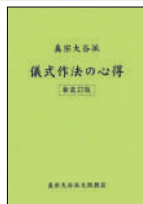
昨年より変わらぬ人気で、年間ベスト第1位にランクイン！
講義録のためわかりやすいお言葉で、多くの方に手に取っていただけ
施本としても人気。



儀式作法の心得 **新改訂版**

真宗大谷派大阪教区出版会議編・A5判・36頁・440円〈真宗大谷派大阪教区〉

上半期下半期ともに売れ行き好評で、第2位にランクイン！
儀式声明作法においてご活用いただくための手引書。



住職必携——真宗大谷派儀式作法

大谷制以知 著・A5判・224頁・2,860円・ISBN:978-4-8318-8785-6〈法藏館〉

昨年同様、第3位にランクイン！
図や写真入りの本書は、待ち望んでいた方も多く、ご住職のみ
ならず僧侶必携の書です。



順位	書 名	著 者 名	出版社名	定価(税込)
4	一億三千万人のための『歎異抄』【朝日新書935】	高橋源一郎	朝日新聞出版	891円
5	真宗学講義ノート	田代俊孝講述・児玉法彰筆録 池井勝彦加筆	同朋大学 田代客員教授研究室	1,300円
6	『教行信証』からひもとく浄土真宗の教え 3刷	藤澤信照	法藏館	1,980円
7	親鸞の出遇った世界 浄土真宗IV 【教行信証化身土巻講義】	平野 修述「平野修師 講義集」編集実行委員会編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
8	宗祖親鸞聖人御絵伝	真宗佛光寺派御伝絵・ 御伝文研究会編	真宗佛光寺派御伝絵・ 御伝文研究会	330円
9	真宗聖典 第二版(小判)	聖教編集室編	東本願寺出版	4,400円
10	真宗聖典 第二版(大判)	聖教編集室編	東本願寺出版	4,950円
11	南無阿弥陀仏のころ(下)―正信偈にきく	廣瀬 惺	真宗大谷派 難波別院	550円
12	法城を護る人々 上 【法藏館文庫】	松岡 譲著 野尻はるひ解説	法藏館	2,200円
13	舍利弗の物語―阿弥陀経の黙った主役	大窪康充	京都月出版	1,100円
14	法城を護る人々 下 【法藏館文庫】	松岡 譲著 半藤末利子解説	法藏館	2,200円
15	親鸞思想と解放運動	廣瀬 晃	真宗大谷派 難波別院	550円
16	法城を護る人々 中 【法藏館文庫】	松岡 譲著 真継伸彦・大澤純子解説	法藏館	2,200円
17	はじめてふれる坂東本・教行信証	三木彰円	東本願寺出版	1,650円
18	南無阿弥陀仏のころ(上)―正信偈にきく	廣瀬 惺	真宗大谷派 難波別院	550円
19	親鸞入門【真宗新書】	一楽 真	東本願寺出版	968円
20	唯信鈔文意【ちくま学芸文庫 シ-45-1】	親鸞著・阿満利磨解説	筑摩書房	1,100円

特集3 仏教と生きものの意外な関係

仏教ゆかりの生き物と言えば、お寺の天井に描かれている「龍」お寺や神社の入口の両脇に置かれている「狛犬」いずれも想像上の生きものが多いような…。でも、そうとも限りません。仏教と生きものの意外な関係を探索しましょう。

◆生きものたちと仏教のはなし

華園真慶著・四六判・112頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2460-8 **2刷**

仏教に囲まれた幼少期、生きものたちの生と死について人一倍考える機会が多かった獣医学生時代を経て、いま僧侶として歩を進める著者による、獣医学を学んだからこそ語る事ができる、みずみずしく新しい仏教のはなし。 〈法蔵館〉



◆お寺のどうぶつ図鑑

今井淨圓監修・A5判・158頁・1,760円

仏教は古代インドで誕生して以来、動物にかかわるエピソードがとて多いです。お釈迦様は成仏をなしとげるまで人間のみならず動物としても無数の生死をくりかえしました。涅槃図や寺社縁起にも数多くの動物が登場します。身近なお寺に意外な動物が祀られていることに驚くはずです！ 〈二見書房〉



◆仏教ゆかりの生きもの図鑑

福田 琢著、大島加奈子絵・B5変判・75頁・1,210円

今からおよそ2500年前、インドで誕生した釈尊（お釈迦さま）が説かれた教えがまとめられた仏典には、様々な生きものが登場します。身近な動物から神話の世界の生きものまで。こうした“生きもの”を通して物語られてきた、仏教の心とは？ 精緻に描かれた“生きもの”の絵とともにたずねます。東本願寺の境内各所で見られる、彫刻や瓦などに象られた仏教ゆかりの生きものたちも紹介しています。 〈東本願寺出版〉



◆仏教ゆかりの植物図鑑

松下俊英文、大島加奈子絵・B5判・77頁・1,210円

蓮華や菩提樹をはじめ、仏典に登場する様々な植物たち。そんな植物の名前の由来や、物語を、釈尊（お釈迦さま）の生涯をたどりながら、色彩豊かな絵とともに紹介。植物のみずみずしい世界と仏教の物語を味わう。 〈東本願寺出版〉

関連本

お知らせ

2025年新春プレゼント！

2025年1月6日より、法蔵館書店店頭で
ご購入くださったお客様、先着30名様に
「ほのぼのカレンダー2025年版」を
プレゼントいたします。



季節感のある絵で見飽きない、
月々の言葉がいい、使いやすい、と
好評発売中のカレンダーです。
まずは気軽にご来店いただき、
カレンダーをゲットしてください！



先着
30名様

山者からは
者の光が

2025年 1月 January						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

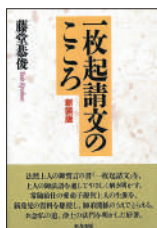
★1月25日は法然上人御命日★

1月25日は、浄土宗の宗祖法然上人のご命日に当たります。お亡くなりになる二日前に
書き遺された「一枚起請文」。まさに最後の教えとなったものです。
「一枚起請文」にお示しになられた往生浄土の一筋の道は、のちの世を生きる私たちの
心へと受けつがれ、こころの支えとなっていることでしょう。

◆法然の生涯

高橋良和著・A5判・88頁・660円・ISBN:978-4-8318-2304-5〈法蔵館〉

日本浄土教の開祖法然は、持戒堅固の清僧でもあった。
法然の人物像を、児童文学者のやさしい筆致で描く。



◆一枚起請文のこころ 新装版

藤堂恭俊著・四六判・228頁・2,200円〈東方出版(大阪)〉

法然上人の御誓言の書『一枚起請文』を、上人の御法語を
通してやさしく解き明かす。常随給仕の愛弟子源智上人の
生涯を、新発見の資料を駆使し、師弟関係のうえでとらえる。
お念仏の道、浄土の法門を明かした好著。

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(12月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	儀式作法の心得 新改訂版	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
2	法城を護る人々 下 【法藏館文庫】	松岡 譲著 半藤未利子解説	法藏館	2,200円
3	法城を護る人々 中 【法藏館文庫】	松岡 譲著 真継伸彦・大澤絢子解説	法藏館	2,200円
4	生きることを教える仏教	田畑正久	本願寺出版社	1,760円
5	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
6	一億三千万人のための『歎異抄』【朝日新書935】	高橋源一郎	朝日新聞出版	891円
7	法城を護る人々 上 【法藏館文庫】	松岡 譲著 野尻はるひ解説	法藏館	2,200円
8	宗祖親鸞聖人御絵伝	真宗佛光寺派御伝絵・ 御伝文研究会編	真宗佛光寺派御伝絵・ 御伝文研究会	330円
9	図説 ここが知りたかった! 歎異抄	加藤智見	青春出版社	1,925円
10	南無阿弥陀仏のこころ(下)—正信偈にきく	廣瀬 惺	真宗大谷派 難波別院	550円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

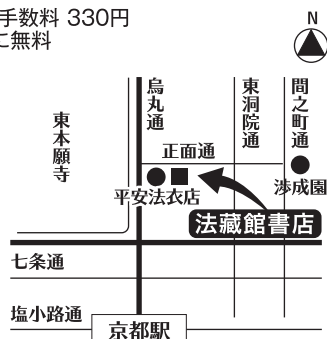
◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会 検索

友の会
会員証



法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中~!